

第 51 回

全国消防救助技術大会



TOP OF RESCUE

～北の大地での挑戦～



NATIONAL RESCUE MEET
TOP OF RESCUE
～北の大地での挑戦～

主催／一般財団法人 全国消防協会
後援／総務省消防庁・全国消防長会



TOP OF RESCUE

～北の大地での挑戦～

令和5年8月25日(金) 9時00分から16時30分まで

陸上会場 札幌市消防学校

水上会場 札幌市平岸プール

一般財団法人全国消防協会では、令和5年8月25日に北海道札幌市（陸上・札幌市消防学校、水上・札幌市平岸プール）において、第51回全国消防救助技術大会を開催しました。

この大会は、人命救助という崇高な理念の下、各都市において鍛え抜かれた救助技術を披露するとともに、様々な災害に対応する救助技術の高度化に必要な基本的要素の練磨を通じて、救助活動に不可欠な体力、精神力、技術力を養い、全国の救助隊員が一堂に会し、競い、そして学ぶことを通じて、他の模範となる救助隊員を育成し、全国民の消防に寄せる期待に力強く応えることを目的として開催しています。

今大会のスローガンである「TOP OF RESCUE（北の大地での挑戦）」は、本大会を通して、各隊員が救助技術の頂点を目指すという熱意あふれる志と、17年ぶりに北の大地・北海道札幌市で開催されるということを表現しました。

当日は、好天に恵まれ暑さ厳しいなか、開会式を陸上の部会場である札幌市消防学校で行い、北海道内の消防音楽隊がコラボレーションした北海道消防連携音楽隊による演奏に合わせ全国9地区支部から選抜された隊員が入場し、開催地消防長である村井札幌市消防局長の開会宣言により大会の幕が開きました。

続いて、消防殉職者に対する黙とう、国旗・大会旗の掲揚の後、大会会長である吉田一般財団法人全国消防協会会長、開催地である秋元札幌市長からあいさつが行われました。

また、来賓である鈴木消防庁審議官、秋本公益財団法人日本消防協会会長、浦本北海道副知事が祝辞を述べられた。次に、大会審判長である本脇北九州市消防局長の審判長指示の後、出場隊員905名を代表して札幌市消防局長の望月隊員が力強く隊員宣誓を行い、訓練を開始しました。

基礎・連携訓練に先立ち、オープニングイベントとして、北海道消防連携音楽隊による特別演奏と、北海道日本ハムファイターズファイターズガールのパフォーマンスが披露され会場が一体感で包み込まれ大いに盛り上がりました。

陸上の部7種目、水上の部7種目、計14の訓練種目では、それぞれの地区指導会での激戦を勝ち抜いた精鋭たちによる人命救助のプロとしての誇りと燃えさかるような熱き魂を胸に、俊敏でしなやかな磨き抜かれた技術と、必ず助け抜くという強い気持ちだが、訓練を見守る多くの人々の心を揺さぶり感動を与えました。

陸上の部の技術訓練は、「激甚化する災害における救助活動」をテーマに行われ、まず釧路市消防本部の隊員により、著しく危険な区域（津波浸水域・家屋倒壊等）から、要救助

者も含めて迅速に離脱することを最優先とする救出方法が披露されました。続いて、札幌市消防局長の隊員により、自然物を活用した支点による安全かつ効率的なロープレスキューによって、早期に要救助者に接触し、容態に応じた救出方法が披露されました。

また、水上の部の技術訓練は、京都市消防局長の隊員により、困難性の高い急流域におけるライブベイト潜水活動として、水中探查装置を活用し、水中の活動環境を把握したうえで、効率的に要救助者を検索する活動が披露されました。

陸上・水上のそれぞれに創意工夫を凝らした救助技術が披露され、参加隊員は、趣向を凝らした訓練想定と高度な救助技術を細部にわたるまで吸収しようと、真剣なまなざしで訓練に見入っていました。

一方、陸上・水上両会場では、札幌市消防局長が保有している救助車などの車両を展示し、防火・防災イベントブースでは、放水体験や救助衣・防火衣着用体験などを行いました。陸上会場となった札幌市消防学校に併設されている札幌市消防局消防科学研究所では、火災に関する実験や動画の視聴、水点下の低温実験室の一般公開やVRコンテンツを利用したリアルな火災臨場体験も行い、市民の防火防災意識及び防災機能の向上につながる大きな成果をあげました。

閉会式では、吉田大会会長から、各訓練種目の代表受賞者に対して表彰を行った後、「陸上の部、水上の部でそれぞれ隊員の皆さまが、日頃鍛えた気力、体力、そして、磨き上げた救助技術を遺憾なく発揮し、素晴らしい成果を収めることができました。一般財団法人全国消防協会では、このような優れた消防救助技術が、将来にわたり永く伝承されるよう引き続き取り組んでまいります。参加隊員の皆さまには、消防救助技術のさらなる向上に努めるとともに、本日本までの訓練成果を災害現場においても十分に発揮し、地域住民の負託に応えるよう期待いたします。」と訓練を講評しました。

国旗・大会旗の降納に続いて、大会旗が次回開催地の白井千葉市消防局長に引き継がれた後、村井札幌市消防局長が閉会を宣言し、第51回全国消防救助技術大会は幕を閉じました。残暑が続く中、多くのご来賓と市民の皆さまなど、延べ約1万人の方々にご来場をいただき、成功裏に大会を終えることができました。本大会の開催に際しまして、多大なるご支援、ご尽力を頂きました開催地消防本部である札幌市消防局をはじめ、関係各位に深く感謝申し上げますとともに、将来の育成隊員のためにも引き続きのご理解ご協力をお願い申し上げます。



挨拶

一般財団法人全国消防協会

会長 吉田 義実

一般財団法人 全国消防協会会長の吉田でございます。

第51回全国消防救助技術大会の開催に当たり一言ご挨拶を申し上げます。
本日はご多用の中、鈴木消防庁審議官、秋本日本消防協会会長、また、開催地を代表して、浦本北海道副知事、秋元札幌市長をはじめ、多くのご来賓のご臨席を賜り、心から御礼を申し上げます。

我が国の消防救助技術は、災害現場における幾多の教訓に学びながら、隊員の皆さまの不断の努力により、発展を遂げてまいりました。その技術は、災害の現場で十分に発揮され、国内外において高い評価を得ているところでもあります。

また、地震、台風、集中豪雨などの自然災害が頻繁に発生する我が国において、災害の現場で先頭に立ち、救助活動に従事する消防職員への信頼と期待は、より一層高まっております。

本協会といたしましては、全国の消防職員が地域住民の負託に応え、国民生活の安全・安心の確保と地域社会の発展に貢献されるよう、引き続き各種事業を通じて積極的に支援してまいります。

参加隊員の皆さまにおかれましては、怪我等に十分留意され、これまでの訓練成果を遺憾なく発揮されますことを期待しております。

結びに、本大会開催にあたり、格別のご支援・ご協力を賜りました札幌市ご当局並びに札幌市消防局の皆さまに深く感謝を申し上げますとともに、ご列席、ご来場の皆さまのますますのご健勝、ご多幸を心から祈念申し上げます、挨拶いたします。



祝辞
北海道副知事
浦本元人



祝辞
公益財団法人日本消防協会会長
秋本敏文



祝辞
総務省消防庁審議官
鈴木健一



開催地挨拶
札幌市長
秋元克広



次期開催地挨拶
千葉市消防局長
白井一広



審判長指示
北九州市消防局長
本脇尉勝



開会宣言・閉会宣言
札幌市消防局長
村井広樹

陸上の部

ロープブリッジ渡過 (基礎訓練)



水平に展張された渡過ロープ20メートル(往復40メートル)を往路はセーラー渡過、復路はモンキー渡過する。ロープ渡過の基本的な訓練。



表彰者

【標準所要時間28秒】

- 【北海道】
南渡島消防事務組合消防本部 岩坪 拓実
西胆振行政事務組合消防本部 増川 万徳
千歳市消防本部 坪田 信
釧路北部消防事務組合消防本部 渋谷 瑛一

【東北】
釧路東部消防組合消防本部 遠藤 真人

青森地域広域事務組合消防本部 渡邊 海弥

由利本荘市消防本部 佐藤 雄飛

宮古地区広域行政組合消防本部 吉田 凌

天童市消防本部 長沼 康大

仙台市消防局 鳥居 泉希

郡山地方広域消防組合消防本部 神 博斗

上越地域消防局 市村 崇将

【関東】
茨川広域消防本部 木村 公紀

塩谷広域行政組合消防本部 村上 竜

常総地方広域市町村圏事務組合消防本部 岡崎 駿介

児玉郡市広域消防本部 秋山慶之介

鎌ヶ谷市消防本部 澁谷 泰介

東京消防庁 鈴木 敬志

藤沢市消防局 財前 典明

【東海】
尾三消防本部 白井 良拓

大垣消防組合消防本部 柴崎 奨

名張市消防本部 杉本 泰啓

射水市消防本部 浅野 朔弥

嶺北消防組合消防本部 長清慎之輔

湖北地域消防本部 木村 将也

【近畿】
茨木市消防本部 北山 陽介

美方広域消防本部 岡本 卓

【中国】
津山圏域消防組合消防本部 水嶋 大陸

鳥取県東部広域行政管理組合消防局 金田 祐真

廿日市市消防本部 水野 寛之

松江市消防本部 有富 勇太

岩国地区消防組合消防本部 秦 拓海

【四国】
高松市消防局 藤澤 裕貴

美馬市消防本部 藤川 修平

四国中央市消防本部 三宅 匠

【九州】
佐賀広域消防局 津田 雄一

佐世保市消防局 音辻 太智

天草広域連合消防本部 坂井 雄太

豊後大野市消防本部 玉田 竜生

指宿南九州消防組合消防本部 徳永 博一



はしご登はん (基礎訓練)

自己確保の命綱を結索した後、垂直はしごを15メートル登はんする。災害建物への進入等、消防活動には欠かせない訓練。

【標準所要時間24秒】



表彰者

【北海道】
南渡島消防事務組合消防本部 吉田 武

西胆振行政事務組合消防本部 高木 孔希

恵庭市消防本部 島 陸

大雪消防組合消防本部 波多野 陸

【東北】
弘前地区消防事務組合消防本部 菊地 勇大

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 太田 和寿

最上広域市町村圏事務組合消防本部 今田 光成

【関東】
館林地区消防組合消防本部 大塚 良幸

石橋地区消防組合消防本部 尾崎 天佑

埼玉西部消防局 常木 陽介

印西地区消防組合消防本部 成嶋 雄太

大和市消防本部 荒井 翼

富士五湖広域行政事務組合富士五湖消防本部 太田 貴

【東海】
松本広域消防局 矢島 拓己

知多南部消防組合消防本部 栗澤 亮

不破消防組合消防本部 古橋 祐樹

【東近畿】
金沢市消防局 山田 哲大

湖南広域消防局 齋藤 志



【中国】

倉敷市消防局 名越 大貴
 福山区消防組合消防局 伊達 航己
 雲南消防本部 勝田 秀斗
 光地区消防組合消防本部 有井周太郎

【四国】

大洲地区広域消防事務組合消防本部

高知市消防局

島田 紘佑
 堅田 智資

【九州】

佐賀広域消防局 中野 賢人
 八代広域行政事務組合消防本部

竹田市消防本部 加藤 誠也
 日向市消防本部 夏井 隆光
 伊佐湧水消防組合消防本部 森山 脩己
 本部町今帰仁村消防組合消防本部 仲田健史朗



ロープ応用登はん（連携訓練）

登はん者と補助者が2人1組で協力し、器材を使わずに塔上から垂下されたロープを15メートル登はんする。

【標準】所要時間16秒

【北海道】

富良野広域連合消防本部

奈良岡 翔
 岩本 侑也

【東北】

十和田地域広域事務組合消防本部

杉沢 貴史
 川村 祐樹

酒田地区広域行政組合消防本部

富樫 和史
 松田 佳丈

仙台市消防局

佐々木優希
 伊藤 徳一

相馬地方広域消防本部

高瀬 雄飛
 柳沼 飛翔

【関東】

高崎市等広域消防局

勝山 壮一
 平澤 圭

石橋地区消防組合消防本部

鶴見 拓樹
 大垣 成

印西地区消防組合消防本部

濱川 雄大
 倉林 佑多

横浜市消防局

瀨能 誠
 磯野 竜次

峡北広域行政事務組合消防本部

井上 冬輝
 山坂 祐介

上田地域広域連合消防本部

西角 哲郎
 杉浦 悠

御前崎市消防本部

高井 健伍
 川合 大介

【東海】

田原市消防本部

彦坂 晃汰
 渡辺 捺暉

高山市消防本部

小林 孝耀
 柿下 大輔

志摩市消防本部

神田 芳久
 高岸 峻平

【東近畿】

富山市消防局

八十島隆輔
 岸岡 昇吾

加賀市消防本部

坂口 透
 山城 浩輝

永平寺町消防本部

伊井 悠恭
 田原 和貴

湖南広域消防局

金山 優平
 遠城 力哉

宇治市消防本部

福井 泰斗
 下岡 孝司

生駒市消防本部

西村 祐樹
 布施 要

紀美野町消防本部

布施 拓己
 久保 拓己

【近畿】

大阪市消防局

前久保雄貴
 一村 俊介

【中国】

津山圏域消防組合消防本部

長瀬 彬
 山本 和希

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

西村 京平
 横地 康平

大竹市消防本部

後田 光優
 高野 純一

浜田市消防本部

片岡 啓
 森下 智広

【四国】

三観広域行政組合消防本部

近藤 領
 白川 貴也

西条市消防本部

越智 義仁
 今井 彩貴

高吾北広域町村事務組合消防本部

岡林 一部
 高岡 一司

【九州】

唐津市消防本部

中島 憲吾
 永原 翔

平戸市消防本部

内田 大喜
 江口 剛司

八代広域行政事務組合消防本部

宮村 一海
 上田敬志朗

竹田市消防本部

原田 祥信
 今澤 太志

宮崎県東湯消防組合消防本部

猪俣 裕介
 上村 将朗

大隅肝属地区消防組合消防本部

松清 真也
 園田 大起

ほしく救出（連携訓練）



3人1組（要救助者を含む）で、1人が空気呼吸器を着装して長さ8メートル

の煙道内を検索し、要救助者を屋外に救出した後、2人で安全地点まで搬送する。ビルや地下街等で煙に巻かれた人を救出するための訓練。

【標準所要時間1分2秒】

表彰者

【北海道】

深川地区消防組合消防本部 西 志尚

鞠古 翔太

畑中 健太

釧路東部消防組合消防本部 藤谷 直人

高橋 遼汰

久保田泰充

【東北】

八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部

酒井 貴大

木村 裕希

小田 祐理

一関市消防本部

鈴木 成人

岩淵 真弥

佐藤 広陸

【関東】

成田市消防本部

鈴木 暁斗

平久保新悟

安藤 達朗

【東近畿】

砺波地域消防組合消防本部

法才 歩暉

蓑輪 和人

雨野 睦

【四国】

嶺北広域行政事務組合消防本部

中島 正樹

池添勇志郎

澤田 拓也

ロープブリッジ救出（連携訓練）



4人1組（要救助者を含む）で、2人が水平に展開された渡過ロープ（20メートル）により対面する塔上へ進入し、要救助者を救出ロープに吊り下げてけん引して救出した後、脱出する。要救助者を隣の建物等から進入し、救出することを想定した訓練。

【標準所要時間1分15秒】

表彰者

【北海道】

旭川市消防本部

水谷 亮太

石井 剣心

高谷 純平

牧野 左京

一関市消防本部

木下 浩輔

佐藤 優平

菊池 樹

三浦龍之介

新潟市消防局

渡邊 亨

住岡 優作

田邊 祐太

小柳 翔

渡邊 稜

【関東】

鹿沼市消防本部

須田 光

瀨下 隆太

井口 祐貴

石岡市消防本部

小池 大貴

森山 和範

石戸 麗慈

鈴木 康晃

岡崎 孝介

潮田 大河

石田 尚人

川口市消防局

城戸 和也

諏訪 大貴

田部井拓哉

張替 直樹

関本 大貴

須賀 浩之

渡辺 一貴

坂上 憲昌

松本 俊

宮川 成人

永塚 蘭斗

中田 知明

狩野 誠也

小池 貴史

根岸 大輝

久保田啓介

小柳 郁弥

四日市市消防本部

戸田 育弥

加藤 淳平

井亦 功貴

大木 一茶

【近畿】

加古川市消防本部

市位 壮太

谷上 大介

小田 涼

富嶋 大晟

河本 景太

新田 海人

安藤 洸樹

大塚 峻

明石市消防局

亀山 昂太

曾根 亮汰

藤井恵太郎

平田 航典

羽賀 篤士

狩野壮太郎

花田 大造

和田 圭介

福田 紘暉

鯨津 悠人

前田 皓平

光永 凱斗

引揚救助（連携訓練）



5人1組（要救助者を含む）で、2人が空気呼吸器を着装して塔上から塔下へ

降下し、検索後、要救助者を塔下へ搬送し、4人で協力して塔上へ救出した後、ロープ登はんにより脱出する。地下やマッホール等での災害を想定した訓練。

【標準所要時間2分9秒】

表彰者

【北海道】

札幌市消防局

宮口 晴臣

岩谷 圭太

高田 稜

廣井 志丹

郷田 豊人

清野 遼

桐原 仁

梶 洸介

佐藤 圭悟

掛屋 輝

米山 航輝

遠山 凌

佐野 健司

渡邊 悠

前田 皓人

小林 大輔

中塩 和希

長山 公紀

米谷 亮一

野村 将吾

菅澤 諒介

久保木慎也

椿 拓真

矢橋 政彦

菅澤 宙

金林 正人

浦安市消防本部

市川市消防局

東京消防庁

【東海】

一宮市消防本部

【東近畿】

宇治市消防本部

【近畿】

柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部

神戸市消防局

大塚 純也

小西 雄真

金木 大

寺鍛冶 工

田中 道智

村山 孝文

篠塚 駿

廣田 俊朗

倉元 聡

小久保吉崇

岩澤 治郎

岡本 浩平

阿部 潤

栗原 康多

坪井 良太

野村 祐貴

廣井 潤

小島 勇人

山内 将矢

宮島 智生

向井 裕貴

石濱 大地

山吹 圭右

村井 拓磨

國富 巧詩

小南 憲吾

矢野 太雅

坂上 泰介

西田 和真

柳瀬 貴之

松原 迪哉

大林 一航

坂下遼太郎

【中国】

福山地区消防組合消防局

夏山 禎炯

末房 大典

武田 和樹

上野 泰暉

平川 空良

大本 崇矢

障害突破（連携訓練）



5人1組（補助者を含む）で、4人が緊密な連携の下、一致協力して「乗り越える」「登る」「渡る」「降りる」「濃煙を通る」の基本動作により5つの障害を突破する。災害現場の様々な障害を想定した訓練。

【標準所要時間2分37秒】

表彰者

札幌市消防局

旭川市消防本部

旭川市消防本部

旭川市消防本部

旭川市消防本部

旭川市消防本部

旭川市消防本部

旭川市消防本部

旭川市消防本部

【東北】

八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部

大谷 成生

柏崎 郁

岩崎 航司

川内 玖郷

立花 龍介

坂本 匠

【関東】

日立市消防本部

菊地 竜也

矢部 佑樹

大森 翼

綿引 真人

沼田 遥輝

布留川拓耶

菅澤 周太

大森 脩登

小林 史和

村松 博文

海部南部消防組合消防本部

横井 大樹

山田 幸正

山田 敦也

水谷 太軌

伊藤 平

森脇 康介

宮城 雄太

定金 義志

橋本 宏久

森末 真仁

古賀 風太

嶋 孝盛

櫻木 克海

一木 瑛吾

山内崇佑志

【中国】

倉敷市消防局

【九州】

粕屋南部消防組合消防本部

粕屋南部消防組合消防本部

粕屋南部消防組合消防本部

粕屋南部消防組合消防本部

粕屋南部消防組合消防本部

水上の部



基本泳法（基礎訓練）



「じゅんか飛び込み」で入水した後、常に顔が水面に出た状態で、基本的な泳法である「ぬき手」と「平泳ぎ」でそれぞれ25メートルずつ泳ぐ。水難救助の基本的な泳法を習得するための訓練。

【標準所要時間40秒】

表彰者

【東北】

大館市消防本部
鶴岡市消防本部

【関東】

高崎市等広域消防局
鹿行広域事務組合消防本部
さいたま市消防局
埼玉西部消防局

畠山 幹大
土肥 隆輔

吉田 翔
小原 竜来
寺本 凌
神山 隼

東京消防庁
東京消防庁
東京消防庁
千曲坂城消防本部
志太広域事務組合志太消防本部

【東海】

名古屋消防局
豊田市消防本部

【東近畿】

白山市市広域消防本部
南越消防組合消防本部

【近畿】

堺市消防局
大阪市消防局

【中国】

倉敷市消防局
福山地区消防組合消防局

【九州】

熊本市消防局
佐伯市消防本部

口野 風斗
平松 潤己
細川 大介
丑丸 俊輝
山崎 貴之

小出 悠平
間瀬 大雅

刈本 大洋
山北 雅也

森本 和樹
堀上 寛弥

江尻龍之介
濱砂 将

道喜 大耀
甲斐 政也

複合検索（基礎訓練）



マスク、スノーケル、フィンを着装し、スノーケリングで障害物（救命浮環）を突破しながら水中に沈められたリング4個を検索して、引き揚げる。水中の行方不明者の搜索を想定した訓練。

【標準所要時間40秒】

表彰者

【東北】

能代山本広域市町村圏組合消防本部

【関東】

仙台市消防局
いわき市消防本部

【東海】

高崎市等広域消防局
稲敷広域消防本部
埼玉東部消防組合消防局
さいたま市消防局
市川市消防局

【東近畿】

高崎市等広域消防局
大垣消防組合消防本部
大津市消防局
京都市消防局

【近畿】

堺市消防局

【中国】

岡山市消防局

【四国】

高松市消防局

【九州】
長崎市消防局
熊本市消防局
上益城消防組合消防本部
人吉下球磨消防組合消防本部

溺者搬送（連携訓練）



2人1組（要救助者を含む）で、救助者が「じゅんか飛び込み」で入水後、要救助者（溺者）を注視しながら近づき、チンプールで確保した後、ヘアークャリーにより救助する。

【標準所要時間42秒】

表彰者

【東北】

八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部
老久保亮太
橋本 満晴

鶴岡市消防本部

【関東】

草加八潮消防局

東京消防庁

川崎市消防局

秦野市消防本部

藤沢市消防局

【東海】

大府市消防本部

【東近畿】

白山市の市広域消防本部

京都市消防局

【近畿】

大阪市消防局

【中国】

広島市消防局

【四国】

丸亀市消防本部

【九州】

佐賀広域消防局

人吉下球磨消防組合消防本部

宮守 智也

齋藤 創士

里 純哉

高津 雄一

平松 潤己

山田 一貴

矢澤 隼人

丸山 悟

柏崎 尚也

飯田 拓和

小日向勇二

坂本裕次郎

神近 洋佑

中村 和希

直江 玲皇

中村 花蓮

三科 憂

鈴木 海勢

山村 亮博

窪田 琢也

小方健太郎

友田 頼希

大場 悠也

真鍋 裕巳

竹下 翔

石井 崇雅

黒肥地舜都

重富 梨央

人命救助（連携訓練）



3人1組（要救助者を含む）で救助者が「二重もやし結び」のロープをたすき掛けにして要救助者の位置まで泳ぎ、要救助者をクロスチェストキャリアーで確保し、補助者が救助ロープをたぐり寄せて救助した後、再び水没しつつある要救助者（訓練人形）を水面に引き揚げ、救助する。

【標準所要時間1分13秒】



【東北】

新潟市消防局

橘 寿希也
渡邊 和樹
小杉 悠太

【関東】

太田市消防本部

【東海】

名古屋消防局

【近畿】

守口市門真市消防組合消防本部

【四国】

徳島市消防局

星野 壮開

穴水 龍太

寺崎 有咲

剛屋 大河

加藤 和樹

藤森 望夢

西脇 圭彦

西村正太郎

徳田 颯馬

藤本 衡

岩花 準也

玉田 浩貴

徳島市消防局

徳島市消防局

溺者救助（連携訓練）



3人1組（要救助者を含む）で救助者と補助者の2人が協力して浮環にロープを結着後、補助者が浮環をプール内へ投下して救助者が25メートル先の要救助者の位置まで搬送し、これに要救助者をつかまらせ、補助者がロープをたぐり寄せて救助する。

【標準所要時間43秒】



【北海道】

札幌市消防局

【関東】

東京消防庁

【東海】

藤沢市消防局

静岡市消防局

【東近畿】

京都市消防局

【近畿】

堺市消防局

棟方京一朗

新垣 豪

鈴木 貴翔

西村 凌央

島田 恭圭

山田 一貴

林 紘平

奥野木勇蔵

中野 諒太

齋藤 傑

望月 辰哉

清水麻衣子

花村 架怜

風間 敬介

大島 利起

山本 洋平

植木 将太

日高 敬介

片山 湧作

栗本 裕生

上田 雄士

【九州】

八代広域行政事務組合消防本部

鳥居 大暉
村上 和好
吉村 巧太

【関東】

市川市消防局

東京消防庁

東京消防庁

東京消防庁

【東海】

名古屋市消防局

【東近畿】

京都市消防局

【近畿】

大阪市消防局

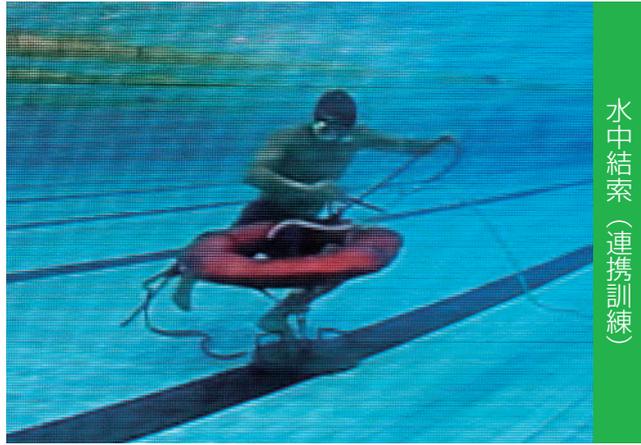
【四国】

西条市消防本部

【九州】

山鹿市消防本部

熊本市消防局



水中結索（連携訓練）

3人1組で水中の結索環に、第1泳者は「もやい結び」、第2泳者は「巻き結び」、第3泳者は「ふた回りふた結び」のそれぞれ指定された3種類のロープ結索を行う。水中におけるロープ結索技術を習得するための訓練。

【標準所要時間】1分46秒

表彰者

【東北】
にかほ市消防局

兼松 翔
小松 匡
須田 翔馬

小林 翔易

篠原 優太

安井 徳弘

渡邊 裕太

楠本 祐輔

山本 貴也

谷口 誠司

野沢 叔弘

口野 風斗

田口 恭平

松田 卓己

二葉慎太郎

鳥羽 将平

美島 純

永宮 瞭

吉田 良輔

日高 敬介

寺田 賢司

高瀬 涉

松永 将信

長船 勇雅

印南 魁人

阿部 卓

渡邊 力

佐藤 奨洋

渡邊 大輔

渡邊 一史

園田 悠太

山崎 大輔

芹岡 弘樹

水中検索救助（連携訓練）



4人1組で第1泳者が水面を、第2泳者が水中をそれぞれ検索し、水没している要救助者（訓練人形）を発見して水面へ引き揚げた後、第3泳者と第4泳者が協力して対岸の救出地点まで搬送し、救助するもの。

【標準所要時間】1分42秒

表彰者

【東北】

八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部

【関東】
川崎市消防局

吉田 航太
大下 和馬
下田 先
中野 暁夫
矢澤 隼人
深野 裕輔

静岡市消防局

【東海】

大垣消防組合消防本部

【東近畿】

京都市消防局

【近畿】

神戸市消防局

【四国】

高松市消防局

【九州】

東部消防組合消防本部

城 敬

若生 昌弘

佐野 元太

福井 拓哉

柚木 洋祐

木村 拓斗

高木伸之介

長屋 吉輝

小栗 康平

寺田 彪人

吉田 良輔

寺田 賢司

三科 憂

鈴木 遼隆

竹内 悠太

福田 力

國包 大和

高瀬晋太郎

梁山 天

池田 昂希

南 直人

唐渡 亮介

崎浜 隆汰

與那嶺徳人

浦崎 直力

中真 樹

技術訓練

定められた救助方法や資器材に縛られることなく、創意工夫のもとで、より安全で確実・迅速な訓練を発表するもの。

陸上の部



〔北海道〕

釧路市消防本部

平山 智史
戸田 雄亮
重巢 建治
宮田 修斗
山口 裕真
鬼頭 大将
小市 仁人

〔訓練想定〕

「釧路沖千島海溝を震源とするマグニチュード7・8の巨大地震」の影響による津波が発生した。釧路市街地の多

くが浸水し、津波被害により倒壊した家屋の屋根上に要救助者2名が取り残されており、そこは著しく危険な区域（津波浸水域・家屋倒壊等）という状況である。

〔訓練のポイント〕

激甚化する災害区域において、救出面までの完全な救出のみにこだわらず著しく危険な区域（津波浸水域・家屋倒壊等）からの迅速な離脱を最優先とする救出方法を考案したもの。

札幌市消防局

金子 剛大
目黒 竜太
飛鷹 努
菊池 勇斗
鈴木 郁弥
遠田 恭平
秋田谷忠剛

〔訓練想定〕

地震により土砂崩れが発生し、道路が寸断され男性1名が孤立して助けを求めているという想定で、悪天候のた

め、ヘリコプターによる救助はできないという状況である。

〔訓練のポイント〕

- ・要救助者との早期接触と容態に応じた適切な救出
- ・自然物を活用した支点の安全な荷重管理
- ・安全かつ効率的なロープレスキューの運用

水上の部



〔東近畿〕

京都市消防局

木俣 智行
平瀬 雅基
中貝 真人
中西 雅人
藤川 隆輔
木野田 涼
矢崎耕一郎

〔訓練想定〕

京都市内の河川において、ボート1

艇が操舵を誤り、岩場に座礁して転覆し、乗員のうち1名が、転覆したボート上で救助を求めているもの。事故発生河川は、渓谷内を流れる急流河川で、川幅約20m、流速にあつては毎秒0.5m、水中視界約1mが見込まれる状況である。

〔訓練のポイント〕

- ・困難性の高い急流域におけるライブ・バイト潜水活動
- ・緊急退避行動を可能にした潜水活動技術及び資器材の考察（ライブ・バイト潜水活動）
- ・水中探査装置を活用した水中の要救助者の検索及び活動環境（水中の岩などの障害物）の事前把握



体験イベント

消防車両展示

消防車、救急車及び特殊車両を陸上会場に展示し、車内や積載資器材などを間近で見ることができました。大人も子どもも興味深く見学をしていました。



放水体験

火災現場で実際に使用するホースや筒先を使った放水体験を行いました。「想像以上に重たかった。」「大変な仕事だと実感した。」などの声が寄せられました。



救助衣・防火衣着用体験

子ども用の防火衣や救助衣の着用体験を行いました。記録的な猛暑の中でも、消防隊、救助隊になり切った子どもたちは、元気にたくましくポージングをしていました。



防災パネル展示

平成30年9月6日に発生した「北海道胆振東部地震」の被害状況や消防隊の活動状況を写真で振り返りました。



火災臨場体験VR

VR（仮想現実）コンテンツで、火災や大地震の恐怖や人々の混乱の様子をリアルに体験してもらうもので、大迫力の映像に「危ない！」と思わず声が出てしまうほどでした。



札幌市消防局 消防科学研究所

札幌市消防局の消防科学研究所を一般公開しました。研究装置、機器を間近で見ることができたほか、火災に関する実験や動画の視聴、氷点下の低温実験室を見学できました。



第51回
全国消防救助技術大会
市民インタビュー

岩谷さんご家族

● 夫（札幌市消防局）が大会に出場するため、応援にきました。
● 普段の夫とは一味違う姿がとてもかっこよかったです。
● 夫の仕事姿を見ることが出来る貴重な機会となりました。これからも身体に気を付けて頑張ってください。



熊谷 佑斗隊員（北留萌消防組合消防本部）・由貴さん

● 交際相手の出場をきっかけに、また、北海道開催ということで、応援に来ました。
● 1年間頑張ってきた姿を見てきました。本番は、とても緊張感があり、私まで緊張してしまいました。

● 来年も頑張ってもらって、応援に行きたいです。



高橋さんご家族

● 主人（さいたま市消防局）の応援に家族で来ました。

● 今日のために、日頃から厳しい訓練に耐えて頑張っている姿を見てきたからこそ、訓練中の姿に感動しました。とてもかっこよかったです。これからも市民のために働く主人を家族全員で応援していきます。



福地 均隊員（栃木市消防本部）・美咲さんご夫妻

● 夫の出場をきっかけに、息子と姉妹2人を連れてきました。

● 初めて大会を見に来ましたが、こんなに近くで、普段とは違うキリッとした一面を見ることができてよかったです、凄くかっこよかったです。お疲れ様でした。

● このような機会がないと北海道まで来ることは中々ないので、良い機会になりました。



黒江さんご家族

● 息子（稲敷広域消防本部（茨城））が大会出場になり、応援のために来場し



● ました。
● 日頃の頑張っている様子を見ることができました。
● 参加されている隊員の皆さま、毎日訓練お疲れ様です。
● これからも頑張ってください。

坂本さんご家族

● 夫（三田市消防本部）の応援のために兵庫県宝塚市から、家族総出で札幌に駆け付けました。
● 大会も盛り上がっていて楽しいです。



間瀬さんご家族

● 息子（豊田市消防本部）の応援と札幌観光を楽しむために家族で来ました。
● 息子が「全国大会に出場する」という願いを叶えてくれたおかげで札幌大会に来場することができました。とても大きな大会で驚きました。



三宅さんご家族

● 主人（四国中央市消防本部）の応援に家族で来ました。

● 主人がいつもよりかっこよく見えしました。大会まで訓練お疲れさま。いつもありがとう。

● これからも頑張って欲しいです！（娘）
● かっこよかった！（息子）



野沢さんご家族

● 家族（東京消防庁）が大会に出場するので、応援のため来場しました。

● 毎年、一生懸命練習している姿を見て

● いるので、今年も楽しみにしています。毎年開催地が違うのも、応援の楽しみのひとつです。



晴生君と立樹君

● 全国大会が札幌で行われることを「地域新聞ふりっぱー」で知り来場しました。



● 実際の火事を見たときにとっても怖いと思いました。
● 消防士は、とてもかっこいいです。将来は警察官か消防士になりたい。

佐々木さんご家族

● 知人から大会のことを聞いて、今年の北海道大会にも来場しました。

● 今日は息子さんが大好きなキャラクターの衣装を着て来場し、絶対にやりたかった放水体験もできました。

● 放水体験では、予想以上のホースの重さに驚きました。そんなホースを軽々と操る消防士さんたちの迫力ある訓練を見て、すごくかっこいいなと思いました。



吉田学園医療歯科専門学校救急救命学科のみなさん

● 消防職員になることを目標に専門学校で日々勉強しています。

● 訓練を間近で見ることができ、より一層、消防職員になる決意が強くなりました。



オープニングイベント

● 開会式の後、陸上会場において、北海道内で活動している消防音楽隊である旭川市消防音楽隊、函館市消防音楽隊、北見地区消防音楽隊及び札幌市消防音楽隊が連携し、本大会のため特別に編成した北海道消防連携音楽隊、総勢40名の隊員による特別演奏が行われました。
● 今回連携している各音楽隊の地域にちなんだ曲が、メドレーにより演奏され、一糸乱れぬ迫力ある演奏に来場者を魅了しました。



北海道消防連携音楽隊による特別演奏が行われた後、北海道ファイターズファイトーガールのパフォーマンスが披露され、会場が一体感で包み込まれ、大いに盛り上がりました。



一般財団法人全国消防協会
Firefighters' Association of Japan

— 安心への選択 —

消防職員とその家族を守る団体保険です！

全国消防グループ保険（生命保険）

消防職員賠償責任保険（損害保険）

消防職員傷害保険・消防職員医療保険・弁護のちから（損害保険）

一般財団法人全国消防協会の消防団体保険は、全国16万人の消防職員の助け合いの制度です。
消防職員とそのご家族の皆様の福利厚生に是非ご利用ください！

お問い合わせは ☎ 0120-119-147（生命保険） ☎ 0120-065-988（損害保険）

消防団体保険の収益は、全国消防救助技術大会の開催をはじめ、全国の消防職員のための事業の実施に活用されています。

大会ダイジェスト



令和5年10月25日発行

編集 発行 一般財団法人 全国消防協会

本誌に記載している役職等は全て
令和5年8月25日時点のものです。

〒102-8119 東京都千代田区麹町1-6-2
麹町一丁目ビル 電話 03(3234)1321(代表)